



前日の準備1



前日の準備2

三島市 萩町内では新年恒例の「どんど焼き」が地域の守り神である、神明神社境内にて実施されます。町内から持ち寄られた正月飾り、お守り、だるま、書き初め等を燃やし、1年の無病息災を祈ります。この行事は三島市萩町内会主催、同子供会協賛で実施されますが、中学生、そして当地域にお住いの、二ノ宮 正二さんの長年に渡るボランティア活動によって進められています。

前日の準備作業と当日の「どんど焼き」令和2年1月13日(月)実施について取材して来ました。

町内から回収されたお正月飾り、門松、松飾り、しめ縄などを燃やすための分別作業が実施されています。二ノ宮 正二さん指導のもと中学生ボランティアさん、町内会役員、子供会役員による共同作業です(写真上左右)。



当日準備1



当日準備2

1月13日(月)当日朝8時から神明神社境内において、二ノ宮さんが持参して頂いた竹や木の棒で「どんど焼きやぐら」を組みます。やぐらには前日準備した正月飾りを下から順番に形を整えながら巻き付け、竹にはだるまを取り付けます(写真上左右)。

東西南北4方向、4か所に点火しやすく燃えやすい書初めなどを入れ、周りにしめ縄を敷き詰めたら完成です。



完成1



完成2

美しく綺麗で見事な「どんど焼きやぐら」が完成しました(写真上左)。

写真上右は、二ノ宮造園 代表の二ノ宮 正二さん(右側)、そして同様にボランティア活動をして頂いている娘婿の望月 鉄也さん(左側)です。

二ノ宮 正二さん(82)は…50年前から当ボランティア活動を始められ現在に至っています。最初の

ころはお手伝いの方はいなかったようですが10年程前から町内会 子供会役員さんの手伝いが加わり、そして3年前より地域の中学生ボランティアさんも加わり、会話をしながら楽しく作業を行っているとの事でした。

年々参加者も増加しており、子どもから年配の方々まで楽しい1日に成ればと願っており、元気な限り今後もボランティア活動を続けたいとの事でした。



点火1



点火2

10時00分…二ノ宮さんから種火を頂き、子供会12歳の年男と年女、4名による東西南北4方向から同時に点火されました(写真上左右)。



消防団見守り



二ノ宮 正二さん

地元の消防第4分団、二ノ宮さんらに見守られ「どんど焼き」の炎が勢い良く燃え上がって来ました(写真上左右)。



参加者1



参加者2

子供会役員さんから、本日の参加者約200名の方々へ暖かいトシ汁のふるまいが始まりました。その他お菓子、ジュース類も用意されています。また町内会からは、お神酒のふるまいが行われています(写真上左右)。



消防第4分団1



消防第4分団2

地元で顔なじみの消防第4分団の方々も安全確保のため駆けつけています。そして子供たちからの突然の要望があり…消防車の車内見学にも応じて頂きました(写真上左右)。



団子焼き1



団子焼き2

火の勢いも徐々におさまり炭火になって来ました。二ノ宮さんの合図で、子供も大人も竹ざおの先端につるした餅が一齐に入って来ました。ここで焼かれた餅を食べると今年1年間「無病息災 家内安全」と言われています(写真上左)。

二ノ宮 正二さん…いつも地域の方から大人気、今日も多くの方達との会話が弾んでいます(写真上右)。



後片付け1



後片付け2

全ての予定事項が無事終了し後片付けの始まりです。二ノ宮さんの軽トラックに燃え残り、灰を積み込んで境内の整備作業が行われています(写真上左右)。

二ノ宮正二さん、望月鉄也さん、中学生ボランティアさん、そして消防第4分団、子供会役員、町内会役員の方々の活躍で素晴らしい「どんど焼き」でした。

地域 町内の…子どもから年配の方々まで幅広い年齢層の方が、集まり、挨拶を交わし、笑顔で会話し、共同で作業をし、楽しい1日を過ごす事ができ、地域力UPに大変貢献出来た行事と感じました。

取材：中伊豆地区 生きがい特派員 安藤 智章